**東京ガス\_サマーインターン\_ES**

希望するコースやテーマを選択した理由があれば、自由に記載してください。

海外事業コース

東京ガスの海外事業は大きく2つに分けられます。世界各地に広がるガス田開発を行う「上流事業」と、海外各国でのガス供給や発電事業を行う「中下流事業」です。新規案件の検討にあたっては、様々な視点から投資案件を検討し、契約交渉を行います。一方、中下流事業では、パイプライン敷設などの技術支援や経営管理など、都市ガス・電力事業のノウハウを提供し事業運営に携わります。

テーマNO。1東京ガスの海外事業戦略検討

海外において当社の経験・ノウハウを生かした天然ガスに関わる事業の展開を加速するため、国内の事業に加えて海外拠点における事業管理・開発を理解した上で、今後の海外事業戦略についてグループディスカッションを通して提言していただくテーマです。

海外におけるエネルギーインフラの構築に興味があります。東南アジア等の発展途上国は、今後のさらなる経済成長に伴ってエネルギーの需要はますます高まっており、自国内に資源を持つ国も多いものの、旺盛な需要に対応するために東南アジア域内のＬＮＧ輸入量は増加傾向にあり、その利活用は一層進んでいくと考えられます。そうした状況下で、御社のノウハウ等の知見により、上記諸国に対してどのようにアプローチしていくのかについて意見を交えたいと考え、海外事業コーステーマNO。1東京ガスの海外事業戦略検討を選択しました。

あなたがこれまでの人生の中で新しい事に挑戦した経験は何ですか。また、そこで得られたものについて教えてください。

400文字以下

私は、大学4年の時に、模擬小型人工衛星（CanSat）を開発し、その有用性を競う大会に参加しました。ソフトウェアリーダーとして、誘導制御アルゴリズムやシステム構築を担当しました。他チームは走行制御パラメータを手動で調整していたため、何度も試験を行う必要があり、大会本番直前で大きく時間を割かれていました。これに対し、ジャイロ加速度センサを増やすことで、競技中に機体が自動でパラメータの調整を行えるアルゴリズムを作ろうとチームに提案しました。他チームにはない提案のため、不安の声も出たが、この提案の効果を伝えることで理解が得られました。この結果、他チームが約1時間かけていたパラメータの調整作業が無くなり、機体自体の点検を十分に行えたことで、機体の性能通りの走行を実現しました。そのため、世界大会において特別賞を受賞することができました。このことから私は、未知の領域に積極的に挑戦していく大切さを学びました。

大学・大学院での専攻や研究内容、もしくは大学時代に力を入れて取り組んだ科目について教えてください。

400文字以下

私は大学院において、災害時の多地点同時観測といった様々なミッションに大きく寄与する小型地球観測衛星に関する研究をしています。従来研究では姿勢制御アクチュエータであるコントロールモーメントジャイロ（CMG）は大重量であるため小型衛星に搭載することは検討されていません。そこで私はCMGにバッテリー機能を併せ持たせ、従来のバッテリー重量を削減することにより、小型衛星搭載可能なCMGの提案を行っています。CMGによる姿勢制御性能とバッテリー機能の両方を考慮した最適な制御手法を設計することにより、小型衛星における災害時等の緊急大角度姿勢変更を達成しました。従来の制御手法では困難だった、高速姿勢変更とバッテリー機能の同時最適化が提案手法により可能になりました。したがって、この技術を用いることにより、小型衛星においても、いち早く被害状況の把握が可能となること、災害地点の観測回数が増やせることから、観測可能域の拡大に貢献ができます。

あなた自身について自由にアピールしてください（インターンシップに参加する目的・趣味・特技・海外在住経験など、どのようなことでも結構です）。

400文字以下

私は、大学4年間水泳部に所属していました。また、大学3年時は副将としてチームの練習メニュー作成に取り組みました。練習メニューを作成するにあたって、最重要視したことは、いかにして部員全員が納得して練習に取り組めるようなメニューにするかということです。私が練習メニュー作成を担当する以前は、練習強度がHARD、EASY、ALL OUT等の定性的な表現で段階分けされていました。しかし、このような評価基準では一人ひとりの感覚によって練習強度に差が生じてしまい、各部員にとっての満足度に差が乗じてしまいます。そこで私は、練習強度の評価基準に脈拍という定量的な指標を組み込み、練習の合間にきっちり脈拍を測定することをルール付けました。その結果、練習強度を統一化することができ、部員全員にとって納得できるメニューの作成を達成し、部活全体の泳力向上に貢献しました。こうした経験から、理論的に定量的に物事を評価していく大切さを学びました。

設問 1

第一希望のインターンシップ受講コースを選択して下さい。

※コースによっては「理系のみ」等の要件がございます。

　必ずホームページでご確認ください。

海外事業コース

設問 2

設問(1)で選択されたコースの内、希望のテーマがあれば選択して下さい。

※テーマに強い希望がなければご記入いただく必要はございません。

1.海外事業コース　テーマNO.1・・・東京ガスの海外事業戦略検討 （A日程：8/27～30、9/7）

設問 3

第二希望のインターンシップ受講コースを選択して下さい。

※コースによっては「理系のみ」等の要件がございます。

　必ずホームページでご確認ください。

業務用営業企画コース

設問 4

設問(3)で選択されたコースの内、希望のテーマがあれば選択して下さい。

※テーマに強い希望がなければご記入いただく必要はございません。

12.業務用営業企画コース　テーマNO.2・・・海外における環境政策動向調査（B日程：9/3～7）

設問 5

第三希望のインターンシップ受講コースを選択して下さい。

※コースによっては「理系のみ」等の要件がございます。

　必ずホームページでご確認ください。

防災・供給コース

設問 6

設問(5)で選択されたコースの内、希望のテーマがあれば選択して下さい。

※テーマに強い希望がなければご記入いただく必要はございません。

7.防災・供給コース　テーマNO.1・・・パイプラインの建設と維持管理業務（A日程：8/27～30、9/7）

設問 7

希望するコースやテーマを選択した理由があれば、自由に記載してください。

海外におけるエネルギーインフラの構築に興味があります。東南アジア等の発展途上国は、今後のさらなる経済成長に伴ってエネルギーの需要はますます高まっており、自国内に資源を持つ国も多いものの、旺盛な需要に対応するために東南アジア域内のＬＮＧ輸入量は増加傾向にあり、その利活用は一層進んでいくと考えられます。そうした状況下で、御社のノウハウ等の知見により、上記諸国に対してどのようにアプローチしていくのかについて意見を交えたいと考え、海外事業コーステーマNO.1東京ガスの海外事業戦略検討を選択しました。

設問 8

所属学部の区分（理系・文系）をおしえてください。

理系

設問 9

あなたがこれまでの人生の中で新しい事に挑戦した経験は何ですか。また、そこで得られたものについて教えてください。

400文字以下

私は、大学4年の時に、模擬小型人工衛星（CanSat）を開発し、その有用性を競う大会に参加しました。ソフトウェアリーダーとして、誘導制御アルゴリズムやシステム構築を担当しました。他チームは走行制御パラメータを手動で調整していたため、何度も試験を行う必要があり、本番直前で大きく時間を割かれていました。これに対し、ジャイロ加速度センサを増やすことで、競技中に機体が自動でパラメータの調整を行えるアルゴリズムを作ろうとチームに提案しました。他チームにはない提案のため、不安の声も出たが、この提案の効果を伝えることで理解が得られました。この結果、他チームが約1時間かけていたパラメータの調整作業が無くなり、機体の点検を十分に行えたことで、機体の性能通りの走行を実現しました。そのため、世界大会において特別賞を受賞することができました。このことから私は、未知の領域に積極的に挑戦していく大切さを学びました。

設問 10

大学・大学院での専攻や研究内容、もしくは大学時代に力を入れて取り組んだ科目について教えてください。

400文字以下

私は大学院において、災害時の多地点同時観測といった様々なミッションを遂行する小型地球観測衛星に関する研究をしています。従来研究では姿勢制御アクチュエータであるコントロールモーメントジャイロ（CMG）は大重量であるため小型衛星に搭載することは検討されていません。そこで私はCMGにバッテリー機能を併せ持たせ、従来のバッテリー重量を削減することにより、小型衛星搭載可能なCMGの提案を行っています。CMGによる姿勢制御性能とバッテリー機能の両方を考慮した最適な制御手法を設計することにより、小型衛星における災害時等の高速姿勢変更を達成しました。従来の制御手法では困難だった、高速姿勢変更とバッテリー機能の同時最適化が提案手法により可能になりました。したがって、この技術を用いることにより、小型衛星においても、高速な姿勢変更により災害地点の観測回数が増やせることから、観測可能域の拡大に貢献ができます。

設問 11

あなた自身について自由にアピールしてください（インターンシップに参加する目的・趣味・特技・海外在住経験など、どのようなことでも結構です）。

400文字以下

私は、大学4年間水泳部に所属していました。また、大学3年時は副将としてチームの練習メニュー作成に取り組みました。練習メニューを作成するにあたって、最重要視したことは、いかにして部員全員が納得して練習に取り組めるようなメニューにするかということです。私が練習メニュー作成を担当する以前は、練習強度がHARD、EASY等の定性的な表現で区別されていました。しかし、このような評価基準では各部員の感覚によって練習強度に差が生じてしまい、練習満足度に差が生じてしまいます。そこで私は、練習強度の評価基準に脈拍という定量的な指標を組み込み、練習の合間にきっちり脈拍を測定することをルール付けました。その結果、練習強度を統一化することができ、部員全員にとって納得できるメニューの作成を達成し、部活全体の泳力向上に貢献しました。こうした経験から、理論的に定量的に物事を評価していく大切さを学びました。

設問 12

資格・免許・コンテストや競技会での成績など自由に記載してください。

資格・免許・成績①

【名称】

記入例：普通自動車第一種運転免許

記入例：日本商工会議所簿記検定２級

記入例：ＴＯＥＩＣスコア○○○点

第13回能代宇宙イベントCanSatミッション部門タイプエス賞第3位

設問 13

【取得年月】

2017年 08月

設問 14

資格・免許・成績②

【名称】

AIRLLIS CanSat Mission Award 優勝

設問 15

【取得年月】

2017年 09月

設問 16

資格・免許・成績③

【名称】

TOEICスコア

設問 17

【取得年月】

2018年 05月